

震災がれき

愛知県受け入れ表明

知事
会見 碧南に建設、明言避ける



定例会見での大村秀章愛
知県知事＝愛知県庁で

愛知県の大村秀章知事は十九日、定例記者会見で東日本大震災で発生したがれて受け入れていくことに腹

を固めた」と震災がれきの受け入れを正式に表明した。

大村知事は昨年四月、年間十五万トンの震災がれき受け入れをいったん表明していたが、放射性物質付着などの問題で、受け入れに不安が広がったことから動きが停滞していた。

データ、資料をいただいたところまでいっていない」と話す一方、「国の体たらくな状況を放置するわけにはいかない」とがれき受け入れを決意するに至った経緯を説明した。

また、同県が中部電力碧南火力発電所（同県碧南市）敷地内にがれき処理施設を建設する方向で調整に入っていることについては、「具体的なことは検討協議中なので、現段階では申し上げられない」と明言を避けた。

具体的ながれきの処理や受け入れ方法については現在、県内市町村と事務組合から意見集約をしている段階で、四月初旬には県としての方向性を取りまとめる意向だという。

市民理解得る
ハードル高い

碧南市長

愛知県が中部電力の火力発電所（碧南市）を震災がれきの処理施設建設候補地として調整していることについて、碧南市の禰宜田政信市長は19日までに「碧南市は漁業、農業などが盛んで、安全面の確保が最低条件だ。市民理解のハードルは高い」とするコメントを出した。

施設整備に向けて調整に入ったとの報道について

「寝耳に水で、県からも中部電からも聞いていない」とした。